

デューク オブ バークシャー (The Duke of Berkshire 商標登録)

Dr. Kees Scheepens

日本とオランダの貿易の始まりは、一隻のオランダ船リーフデ(慈愛)号が初めて日本に到着した1600年頃に遡る。1609年8月24日、徳川家康将軍はオランダに特別に貿易の許可を与え、250年以上続くことになった。



平戸にオランダ商館が設立された。1624年にはもう一つ貿易と流通の拠点が台湾に作られ、1641年からは人工島の出島がオランダの貿易拠点になった。

また日本とオランダは古くから日蘭通商航海条約(1913年)を結んでいて、過剰な官僚手続きを経ずにどちらの国民もお互いの国で住んで働くことができた。

2018年、日本政府はEUと経済連携協定に署名した。これによりオランダから日本へ豚肉を輸出することが容易になった。

私が2001年に始めたデューク オブ バークシャー プロジェクトにとって、日本や日本の文化は極めて重大で欠くことのできない役割を果たしている。際立った美味しさの豚を探していたところ、インターネットで出会った日本の黒豚に関する様々情報から発想を得ることができたのだ。

2012年に鹿児島を訪問した際、私のデューク オブ バークシャーと鹿児島の黒豚に共通項があることを再確認した。北西ヨーロッパで最もみずみずしい豚肉を作るために、私が正しい遺伝的特徴を使っていたことを改めて確信できたのだ。

最もアニマルウェルフェアに造詣の深い農場から来るこの素晴らしい豚肉を、高級品志向の消費者は買わずにはいられなくなるだろう。このように豚を解放したいという私の願望は現実味を帯びてきている。従来の豚と比べてデューク オブ バークシャー豚はより良い生き方をして、肉好きの人たちに慣行的生産豚肉より美味しい豚肉を提供することになるだろう。

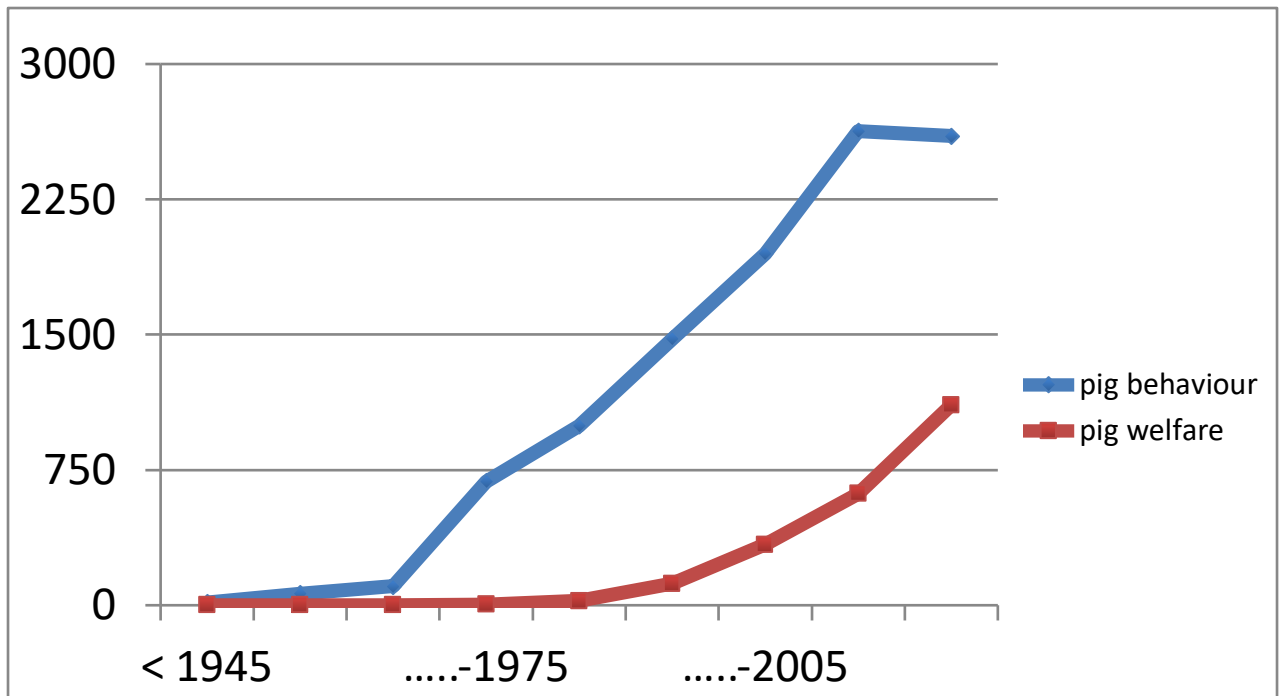


図 1. 豚の行動と福祉についての査読された科学論文の出版数

1990年代、豚の行動やウェルフェアについての研究が急激に増えて、オランダで豚(や他の家畜)により良い生活環境を与えるため農場を改修するように NGO(非政府市民団体)からの圧力が強まった。

豚のよりよい生活への探求には、オランダ動物保護協会 DSPA(The Dutch Society for the Protection of Animals)が中心的な役割を果たしている。

DSPA は戦略的な決定をした。ごく少数の家畜に大きな改善をするのではなく、全ての家畜に(少なくともほとんどの家畜に)小さな段階的改善を促進したのだ。

2007年、ベターレーベン(Beter Leven ※英 Better Life)の枠組みが築かれ、アニマルウェルフェアに関してわかりやすく評価可能な基準が定められた。ベターレーベンの取り組みは、隣国のドイツやベルギーのアニマルウェルフェア団体にとって好例となった。

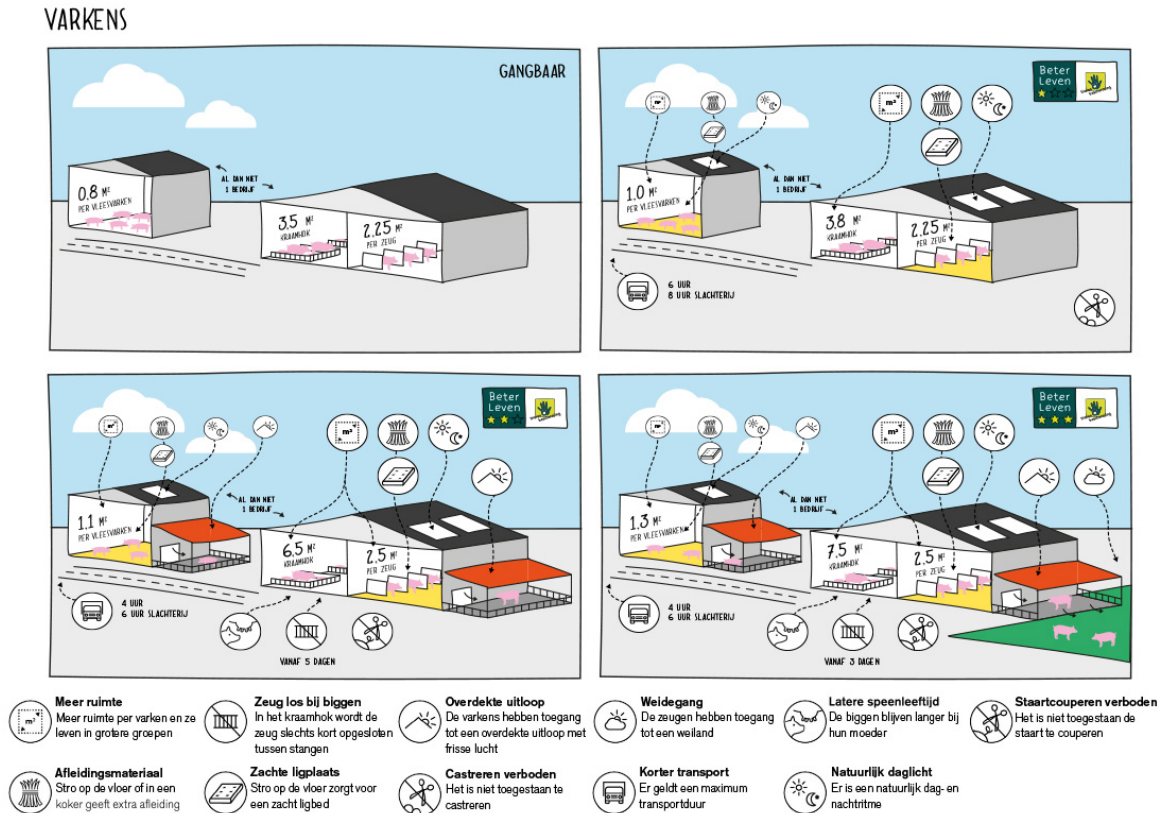
本稿で強調したいのは、よりよい”豚のウェルフェアに関する基準”と、この基準が DSPA の枠組みの中でどのように星の数による格付け制度に転換されるかだ。1つ星は基本的なアニマルウェルフェアのレベル。2つ星は中位の、3つ星は最高位のアニマルウェルフェアと DSPA から評価される。



ベターレーベン（Beter Leven）の星の格付け制度は、始まってから12年間大変な成功を収め、100万頭以上の家畜がアニマルウェルフェアに基づいたよりよい環境で暮らしている！

この星の数による格付け制度は飼育密度、屋外へのアクセス、断尾、去勢の回避などで、表1に示す通りである。

Table 1. DSPAによる星の数による格付け制度（豚の場合）



私は豚の獣医師で、ストレスの初期の兆候 (Pig Signals 商標登録) を把握することを専門としている。私は750年続く農家の家系を継いで、慣行型の豚舎でデューク オブ バークシャーの黒豚の生産を始めた。

豚を豚舎で飼うこの方法は、豚の種に特徴的な必要性を満たさず、バークシャー豚に多くのストレスを生み出していることに気付いた。この豚たちは慣行型養豚飼育システムから、3つ星レベルの飼育システム移動させる必要があったのだ！これは大変に困難なことがわかり、DSAPから3つ星認証を得られる飼育方法を実践できる場所を近所で見つけるのに5年以上かかった。

最終的に、畜舎外・放牧型の飼育方法になった。純血種のバークシャー雌豚を屋外で飼育し、子豚は放牧場の小屋内で藁の上で育てる。現在までこの方法は大変有効で豚たちのほとんど全ての欲求を満たしている。慣行型の農場ではほとんど無視されているが、泥遊びや鼻で土を掘るという2つの主な欲求を十分に満たすことができる。これは高度なレベルのアニマルウェルフェアを満たす根拠をなす要素である。



私は幸運にももう8年以上抗生物質を使うことなく純血種のパークシャー雌豚を飼育することに成功している！豚たちはとてもよい健康状態にあり PRRS（豚繁殖・呼吸障害症候群（PRRS）は PRRS ウイルスの感染による豚といのししの届出伝染病。母豚の繁殖障害と子豚の呼吸器病という二つの症状）も A. p. p（豚胸膜性肺炎）も M. hyo（豚の慢性伝染性肺炎）も陰性だ。

過去15年間、デューク オブ パークシャー牧場®がきっかけとなり、他の沢山の豚の生産者たちは豚がどのように生きているかについて考え始めている。また多くの消費者はよりよいウェルフェア条件で育てられた黒豚肉を味わう日本人の食文化に影響されつつある。

私の純血種のパークシャーの雄豚は屋外の3つ星の環境で育った後、オランダの3つ星農場やベルギーの1つ星(相当)の農場、ドイツの2つ星(相当)の農場に出荷される。Appendix 1に1~3つ星の条件についてのデータシートがありデューク オブ パークシャー農場と比較できる。





3つの全ての国の試食会などで沢山の賞を頂いた。著名なシェフたちはデューク オブ パークシャー黒豚を特別な質感と味わいだと賞賛している。

より良いアニマルウェルフェアと美味しさという感動的な組み合わせが、両国で盛んになるよう今こそもう一度協力していこう！

ありがとう。

キース・シーペンス博士

星の数による格付け制度とデューク オブ バークシャー®-黒豚農場

	Conventional 1 Production				
Space requirements in square meters/pig					
Gestating sows	2.25	2.25	2.5	2.5	25
Lactating sows	3.5	3.8	6.5	7.5	250
Weaned pigs	0.3	0.4	0.5	0.6	25
Finishing pigs	0.8	1.0	1.1	1.3	2.5
Loose farrowing	X	X	V > 5 days	V > 3 days	V
Weaning age	21-28d	23-28d	Min. 35d	Min. 42 days	Min. 42 days
Castration	yes anesthesia	no	yes anesthesia	yes anesthesia	no
Tail docking	yes	yes	no	no	no
Multiple antibiotic treatment	yes	yes	yes	no	not at all
Enrichment materials	chain	straw alfalfa	straw	straw	sandy soil branches roughage straw
Access to covered outdoor area	no	no	0,7 m2/pig 1 m2/sow	1 m2/pig 1,9 m2/sow	continuous 1 hectare
Access to pasture	no	no	no	gestating sows	continuous and all pigs

詳細情報はこちらで: www.dukeofberkshire.com; www.dierenbescherming.nl